



私はつぎのことに取り組みます

- 1 🍀 神戸市動物管理センターの改革
- 2 🍀 繁殖予防行動計画「SNAP(スナップ)」の導入
- 3 🍀 資金調達に個人寄付・民間企業の協力を導入
クラウドファンディングのフル活用
- 4 🍀 動物虐待への法的対応の強化をするため
神戸市内の虐待事例のデータ蓄積を開始

動物愛護行政にみなみかぜを

私たちにこんなにも安らぎを与えてくれるのに
人間の下で常に弱い立場にいる動物たち。
神戸市政を通じて一人の議員として
神戸のさまざまな動物問題を改善したい。



神戸市会議員

MINAMI UEHARA

上原みなみ

1 神戸市動物管理センターの改革

平成18年～平成25年にかけて、NPOと愛護市民の連携により8,000匹もの集中的な不妊去勢手術が実施されました。その結果、平成18年度比で60%以上の殺処分減少が実現し、平成26年度からは愛護動物のガス処分を廃止し、安楽死に改善されました。「処分場」から「愛護の場」に舵を切った同施設の名を「愛護センター」等に変更することで、職員の意識転換にも繋がりたいと思います。そして私は、同センターの名称変更にとどまらず、移転と建替えを視野に入れ、処分を大幅に減少させることのできる施策と民間アイデアを国内外から導入する「動物愛護行政改革のための市民アイデア会議(仮称)」を設置したいと考えています。

2 繁殖予防行動計画「SNAP(スナップ)」の導入

Spay Neuter Action Plan(スベイ ニューター アクション プラン)の略称
Spay Neuterとは英語で最も一般的な不妊去勢手術のこと

神戸市の処分数の80%以上が飼い主不明猫(ノラ・半ノラ)たちの生み出す仔猫です。米国などで広く行われている大規模で効率的な不妊去勢手術による繁殖予防行動計画のことで、都市部だけでなく郊外の過剰繁殖による殺処分問題改善に大きく貢献します。そこで、第一に神戸市の複雑な手術助成金制度を簡略化・撤廃し、公平かつ安価で市民が制度を利用できるよう当局及び市獣医師会等と協議し、不幸な猫が収容・処分されることのないよう、神戸市民の愛護意識現状に沿った繁殖予防計画「SNAP(スナップ)」を前進させます。

3 資金調達に個人寄付・民間企業の協力を導入 クラウドファンディングのフル活用

神戸市は、これまで飼い主不明猫(ノラ・半ノラ状態)の繁殖予防活動を展開するNPO等から、再三の協力打診が有ったにもかかわらず、それを受け入れ協力体制を取ることをしませんでした。一方で、意図的に税金を公益法人にばらまいていると思える非効率な助成金制度の拡充を図っています。国内外の民間組織には既に研究し尽くされた優れた動物愛護行政改善プランがあります。神戸市の姉妹都市である米国シアトル市などは積極的に民間アイデアを受け入れ、米国で屈指の動物愛護先進都市に生まれ変わりました。私はそうした優れた民間アイデアを実行に移すため、インターネットによる資金調達「クラウドファンディング」の導入を取り入れます。

4 動物虐待への法的対応の強化をするため 神戸市内の虐待事例のデータ蓄積を開始

船橋市の県立高校教諭による仔猫の遺棄が報道されたところですが、神戸市は法治国家の中の国際都市として、欧米に負けない動物虐待への丁寧な行政対応が求められます。現行の動物愛護法は完全に眠っています。特に同法の行使(enforcement)を兵庫県警と神戸市内の衛生監視事務所及び動物管理センターに求め、最も多いネグレクト事例(適正な給餌給水、散歩、医療を提供しないなど)への丁寧な対応経験を統計的に積み上げ、公表させて頂こうと思います。



上原みなみ プロフィール

1969年3月16日生まれ 鈴蘭台高校・神戸大学卒業
気象予報士・書道師範・元サンテレビお天気キャスター
NPO法人北区に住んでいるって大声で言い隊理事長
フリーペーパー「キタこれッ!」編集長
好きな言葉:努力出来ることこそ才能

その他の主な政策

- ✓ 中3までの医療費無料化
- ✓ 家庭保育助成による待機児童ゼロ
- ✓ 神鉄・北神急行への敬老バス導入
- ✓ 市バス64系統の学割率アップ
- ✓ 農村部への若者誘致

詳しい実績・活動等は <http://minami-uehara.com>
こちらをご覧ください

MOBIL 080-6150-0373

事務所:神戸市北区若葉台3-18-26(菊水煎餅総本家内)

TEL&FAX 078-595-4114 4月1日~12日
こちらへ

info@minami-uehara.com

